

**NISSAN**



# Half-year Report 2011

**平成23年度上半期 株主通信**

自平成23年4月1日 至平成23年9月30日

**日産自動車株式会社**



取締役会長兼社長  
最高経営責任者  
カルロス ゴーン

株主の皆さまには、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の平成 23 年度上半期の事業運営、業績及び販売は、順調に推移しました。当上半期は、東日本大震災からの復旧活動、厳しいマクロ経済の環境及び円高という厳しい経営環境下にありましたが、当社は確かな実績を残しました。

当社の当上半期の連結売上高は 4 兆 3,674 億円となりました。連結営業利益は 3,097 億円となり、売上高営業利益率は 7.1% に達しました。連結当期純利益は 1,834 億円、売上高当期純利益率は 4.2% となりました。また、自動車事業のフリーキャッシュフローは 1,604 億円のプラスとなり、当上半期末の自動車事業での連結実質有利子負債は、3,204 億円のキャッシュ・ポジションとなりました。

当社は、東日本大震災からの復旧に向け、力強い取組みを進め、本年 10 月には、通常の生産体制を回復することができました。当社には、素早く、足並みを揃えて、複数の経営課題を克服する力があります。現在、当社はタイの洪水被害に際しても、フル生産の体制に早期に戻せるよう対応を進めるとともに、被災地の支援及び復旧にあたっています。

本年 6 月には、新規の市場及びセグメントにおける当社の成長を加速させる、新たな 6 ヶ年の中期経営計画「日産パワー 88」を発表しました。「日産パワー 88」では、可能な限り早い段階で売上高営業利益率 8% を達成し、それを維持しながら、平成 28 年度末までにグローバルでの市場占有率を 8% に伸ばすという意欲的な目標を掲げています。

円高の影響及び厳しい市場環境等の不透明な状況は見込まれるものの、当下半期においても、当社は販売を拡大し、業績を維持していくことができると確信しています。

当社の生産レベルは、東日本大震災前の水準に戻りました。本年度は、当社がどのような危機に対しても迅速かつ効果的に対処することができることを示す一年となります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 目次

■ 株主の皆さまへ	01	■ 今後の見通し	06
■ 中間連結業績の状況	02	■ 日産パワー 88	07
■ 中間事業報告	03	■ 株式・役員情報	08

## 中間連結業績の状況

NISSAN Half-year Report 2011

02

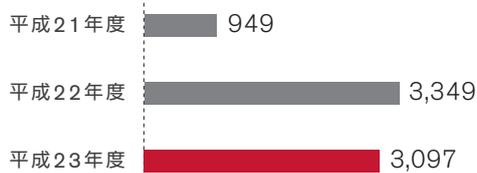
## 売上高



## 総資産



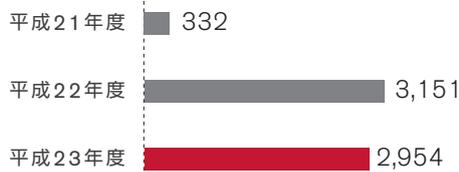
## 営業利益



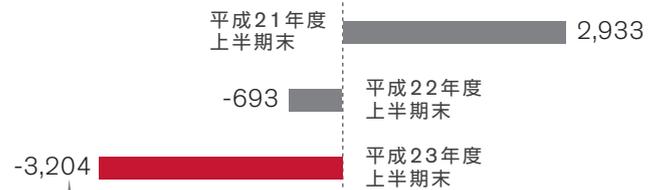
## 純資産



## 経常利益

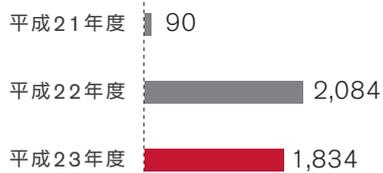


## 実質有利子負債(自動車事業)



平成23年度上半期末の、販売金融を除く自動車事業における実質有利子負債は、引き続き、手元資金が有利子負債を上回っており、その額は、3,204億円に達しました。

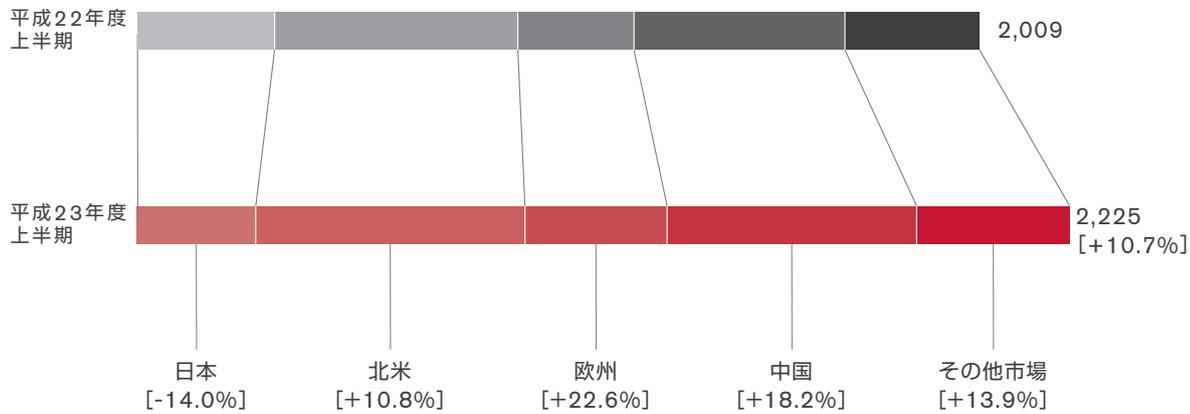
## 当期純利益



(本ページの数値の単位は、すべて「億円」です)

## 平成 23 年度上半期のグローバル販売実績

## ■ グローバル販売台数 (小売)

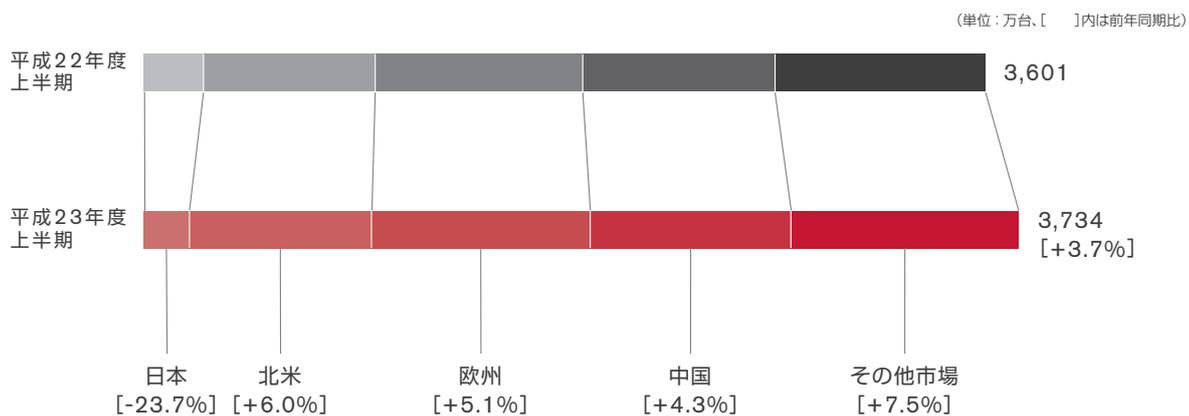


(単位：千台、[ ]内は前年同期比)

	平成22年度上半期	平成23年度上半期
グローバル	2,009	2,225
日本	328	283
北米	580	642
欧州	277	339
中国	503	595
その他市場	321	366

## ■ グローバル全体需要 (小売)

〈当社集計値〉



(単位：万台、[ ]内は前年同期比)

## 中間事業報告

NISSAN Half-year Report 2011

04

## ■ 日本

- 全体需要は、東日本大震災の影響で、前年同期比23.7%減の194万台となりました。当社は、迅速な対応により早期に生産を再開することで、販売の減少幅を前年同期比14.0%減にとどめ、販売台数は28万3千台となり、市場占有率(シェア)は、前年同期比1.7ポイント増の14.6%となりました。
- 「セレナ」は、好調な販売を続けており、平成23年1月から6月のミニバン販売台数ランキングの1位を獲得しました。



セレナ

## ■ 北米

- 米国の全体需要は、前年同期比6.3%増の646万台となりましたが、当社の販売台数は、それを上回る前年同期比9.7%増の48万9千台となり、シェアは、前年同期比0.3ポイント増の7.6%となりました。
- カナダの販売台数は、前年同期比0.2%増の4万7千台となりました。
- メキシコの販売台数は、前年同期比22.2%増の10万6千台となり、シェアは、前年同期比2.2ポイント増の25.2%となりました。



アルティマ

## ■ 欧州

- 全体需要は、前年同期比5.1%増の934万台となりました。
- 当社の販売台数は、「ジューク」及び「キャシュカイ」の好調な販売により、全体需要を大きく上回る前年同期比22.6%増の33万9千台となり、シェアは、前年同期比0.5ポイント増の3.6%となりました。
- なかでも、ロシアの販売台数は、前年同期比61.8%増の6万9千台となりました。



ジューク

## ■ 中国(1~6月)

- 全体需要は、前年同期比4.3%増の856万台となりました。
- 当社の販売台数は、「サニー」、「キャシュカイ」及び「ティーダ」等が牽引し、全体需要を大きく上回る前年同期比18.2%増の59万5千台となり、シェアは、前年同期比0.8ポイント増の6.9%となりました。



サニー

## ■ その他市場

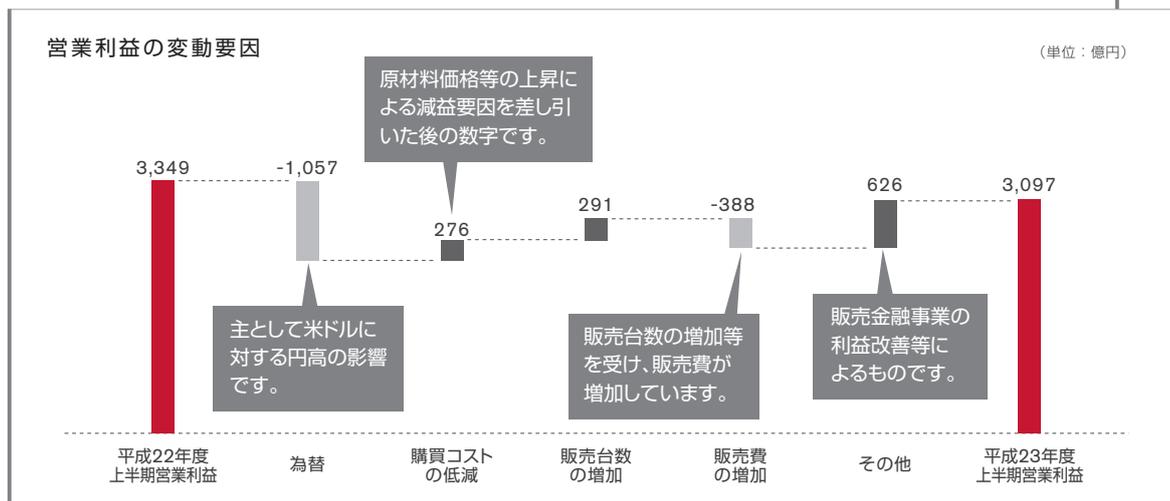
- 中南米の販売台数は、前年同期比36.7%増の9万8千台となりました。なかでも、ブラジルの販売台数は、前年同期比88.2%増の2万9千台となりました。
- タイの販売台数は、前年同期比23.0%増の3万5千台となりました。
- インドネシアの販売台数は、前年同期比47.1%増の2万7千台となりました。
- インドの販売台数は、前年同期の3千台から大幅に増加し、9千台となりました。



マーチ/マイクラ

## 平成 23 年度上半期の連結業績

	平成22年度 上半期	平成23年度 上半期	前年同期比
グローバル販売台数	2,009千台	<b>2,225千台</b>	+10.7%
売上高	4兆3,191億円	<b>4兆3,674億円</b>	+1.1%
<b>営業利益</b>	3,349億円	<b>3,097億円</b>	-7.5%
経常利益	3,151億円	<b>2,954億円</b>	-6.3%
当期純利益	2,084億円	<b>1,834億円</b>	-12.0%



## 平成 23 年度の配当金について

本年度の中間配当金につきましては、平成 23 年 11 月 2 日開催の取締役会において、1 株につき 10 円とし、そのお支払いを 11 月 29 日から開始することを決議いたしました。

また、平成 24 年 6 月開催の第 113 回定時株主総会では、1 株につき 10 円の期末配当金を提案させていただく予定です。

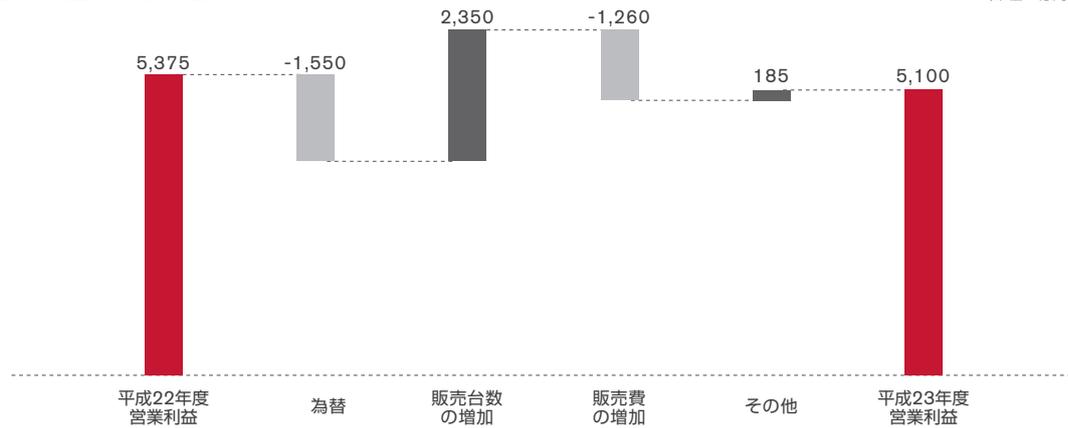
これにより、平成 23 年度の通期の配当金は、前年度比倍増の 1 株につき 20 円となります。

## 平成 23 年度通期の連結業績の見通し

	平成22年度 実績	平成23年度 見通し	前期比
グローバル販売台数	4,185千台	<b>4,750千台</b>	+13.5%
売上高	8兆7,731億円	<b>9兆4,500億円</b>	+7.7%
<b>営業利益</b>	5,375億円	<b>5,100億円</b>	-5.1%
経常利益	5,378億円	<b>4,800億円</b>	-10.7%
当期純利益	3,192億円	<b>2,900億円</b>	-9.2%

営業利益の変動要因

(単位：億円)





当社は本年6月に中期経営計画「日産パワー88」を発表しました。

「日産パワー88」と銘打った本計画は、新規の市場及びセグメントを含む世界市場での成長を加速させることに主眼を置いた、広範にわたる6ヵ年(平成23年度～平成28年度)計画となります。

この中期経営計画の名称は、当社にとって重要な目標を表現しています。当社はお客さまの購入検討から保有までの経験に重点を置いて、ブランドパワー及びセールスパワーの向上を図ります。さらに、平成28年度末までにグローバル市場占有率を8%に伸ばすとともに、売上高営業利益率を8%に引き上げ、その後、維持します。

**POWER**

ブランド &  
セールスパワー

**8**

平成28年度までの  
グローバル市場占有率(%)

**8**

安定的な  
売上高営業利益率(%)

「日産パワー88」は下記のとおり、平成28年度までの当社の明解かつグローバルなビジョンを示しています。

- 新たな幅広い商品計画にしたがい、平均6週間ごとに1車種の新型車を投入する予定です。計画終了時には、66車種を取り揃え、世界の市場及びセグメントの92%をカバーすることになります。
- 持続可能なモビリティを推進する取組みの一環として、ゼロ・エミッションに加えて、ピュア・ドライブ戦略のもと、低燃費技術のラインアップを拡充します。アライアンスパートナーのルノーと合わせて、期間中に累計150万台の電気自動車を販売する計画です。
- すべての人にモビリティを提供するため、エントリーセグメント及び新興市場のニーズに応える新型乗用車及び小型商用車を投入します。
- 90以上の新たな先進技術を商品に搭載します。これは平均で年間15件の新技術を投入していく計算になります。
- ブランドの向上及び販売網への投資拡大等により、お客さまの購入検討から保有期間を含めたトータルの経験価値を向上させます。

## 株式情報

発行済株式の総数 4,520,715,112 株  
 株主数 276,011 名  
 大株主

株主名	持株数(千株)
ルノー	1,962,037
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	168,424
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン スペシャル アカウント ナンバー ワン	142,654(注)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	135,716
日本生命保険相互会社	93,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	74,346
東京海上日動火災保険株式会社	65,404
株式会社損害保険ジャパン	62,278
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	60,321
モックスレイ・アンド・カンパニー	40,407

(注)このうち 140,142 千株をタイムラー AG の完全子会社であるタイムスペイン社が実質的に所有しております。

## 役員情報

代表取締役会長兼社長 カルロス ゴーン  
 代表取締役 志賀 俊之  
 西川 廣人  
 取締役 コリン ドッジ  
 山下 光彦  
 今津 英敏  
 カルロス タバレス  
 ジャン バプティステ ドゥザン  
 中村 克己  
 監査役 青木 征彦  
 中村 利之  
 名倉 三喜男  
 大戸 武元

## 株主メモ

商号 日産自動車株式会社  
(NISSAN MOTOR CO., LTD)  
 資本金 6,058 億円  
 本店 〒220-8623  
 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地  
 本社事務所 〒220-8686  
 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号  
 ☎045-523-5523  
 株主名簿管理人 〒168-0063  
 (特別口座の口座管理機関) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 の電話照会先 中央三井信託銀行株式会社  
 証券代行部  
 ☎0120-78-2031(フリーダイヤル)

- ・住所変更等、当社株式に関する手続きにつきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。
- ・未払配当金の支払い、特別口座に記録された株式に関する手続きにつきましては、上記株主名簿管理人である中央三井信託銀行にお問合せください。

## &gt;&gt;&gt; ウェブサイト

[企業情報] <http://www.nissan-global.com/JP/>  
 [IR情報] <http://www.nissan-global.com/JP/IR/>

>>> 個人投資家の皆様向けメール配信サービス  
「NISSAN IR NEWS」

当社のニュース・情報をメールでタイムリーに配信しています。こちらからご登録ください。

<https://www.nissan-register.jp/irregister/>